

主の中にある聖なる宮へと成長する

聖書：エペソ 2:5-6, 8, 18-22. 3:4-5. I コリント 3:16-17. 6:17

- I. わたしたちが恵みによって救われたことと、キリストと共に復活させられて彼と共に天上で座らせられていることと、御父へと近づくことができることは、主の中にある聖なる宮へと成長することを通して、彼のからだである召会を建造するためです——エペソ 2:5-6, 8, 18, 21-22 :
- A. 神は、十字架につけられたイエスを生かした時、わたしたちを共に生かしてくださいました。ですから、神はわたしたちを、キリストと共に生かしてくださいました——エペソ 2:5。
- B. 恵みによって、わたしたちは自分のみじめな死の地位から、驚くべき命の領域の中へと救い入れられました——エペソ 2:5。
- C. わたしたちは、完成者、手段である子なる神を通して、執行者、適用である霊なる神の中で、創始者、唯一の源である父なる神へと近づくことができます——エペソ 2:18 :
1. わたしたちは、地位的に神に和解させられました。経験的には、御父へと近づくことができます——エペソ 2:16, 18 :
 - a. 神に和解させられることは、救われることです。御父へと近づくことは、神を享受することです。
 - b. わたしたちは神と接触するとき、神の御前に来ます。すなわち、キリストを通して、その霊の中で、御父へと至ります。これは、わたしたちの経験における、またわたしたちの享受のための三一の神です——エペソ 2:18。
 2. 御父は御子を通して、その霊の中でわたしたちに来ました。今やその霊は御子を通して、わたしたちを御父にもたらしめます。このすばらしい双方の行き来を通して、わたしたちは三一の神の分与を享受します——II コリント 13:14. エペソ 3:16-17 前半。
 3. 御子を通してとは三一の神を通してであり、その霊の中でとは三一の神の中でであり、御父へととは三一の神へとです。このようにしてわたしたちは三一の神を経験し、またこのようにしてわたしたちは建造されることができます——エペソ 2:18, 21-22。
- II. わたしたちはキリストにある信者として、またキリストのからだの肢体として、「使徒たちと預言者たちの土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身が、その隅の石」です——エペソ 2:20 :
- A. キリストの奥義である召会が使徒たちに啓示されたのですから、彼らが受けた啓示は、召会が建造される土台と考えられます——エペソ 3:4-5. 2:20 :
1. これは、マタイ第 16 章 18 節の岩と一致します。この岩は、キリストご自身であるだけでなく、キリストに関する啓示でもあり、その上に、キリストは彼の召会を建造されます。

2. わたしたちは、使徒たちと預言者たちの上に召会を建造する必要があります——エペソ 2:20。

B. キリストはエペソ第2章20節において、隅の石として述べられています：

1. キリストは隅の石として、ユダヤ人信者と異邦人信者を共に結び付けて、主の中にある聖なる宮へと至らせます——詩 118:22-26. エペソ 2:20-22。

2. 隅の石であるキリストは、新約時代に召会を建造するためです——マタイ 16:18. エペソ 2:20-22. I ペテロ 2:5 :

a. わたしたちは神の宮としての召会を建造するために、キリストを隅の石として経験する必要があります——I ペテロ 2:6-7。

b. 隅の石であるキリストの中で、建物全体は、主の中にある聖なる宮へと成長していきます——エペソ 2:20-22。

3. 神の新約エコノミーにおいて、隅の石としてのキリストは、わたしたちを救うことで (使徒 4:10-12)、まずわたしたちを、神の霊の家を建造するための生ける石とし (マタイ 16:18. ヨハネ 1:42. I ペテロ 2:4-7)、次に、彼がわたしたちを造り変える過程において (ローマ 12:2 前半. II コリント 3:18)、わたしたちを建造して神の住まいとし (エペソ 2:19-22)、彼が神の大いなる喜びのために、神の永遠のエコノミーを完成するようにします (1:9. 3:9-11)。

III. 隅の石であるキリストの中で、「建物全体が共に組み合わせられ、主の中にある聖なる宮へと成長していきます」——エペソ 2:21 :

A. 「建物全体」という句は、宇宙的な建造、全宇宙における召会を指しています——エペソ 2:21。

B. 「組み合わせられ」という言葉が意味しているのは、その建物の条件と状態にふさわしくされるということです——エペソ 2:21 :

1. 共に組み合わせられることは、からだの骨組みのすべての部分が共に組み合わせられて、一つの構造を形成することです——エペソ 4:16。

2. 建物の中で、すべての材料は共に組み合わせられています。これは、単に積み上げるのではなく、建造することです——エペソ 2:21。

C. この建物は生きているので、成長していきます。なぜなら、それは有機的なものであるからです——I ペテロ 2:5 :

1. この建物は、聖なる宮、神の聖なる住まいへと成長していきます。この事が示しているのは、聖なる宮が生ける建物であるということです——エペソ 2:21。

2. 一見すると、成長と建造は別々のもののようですが、実際には、家の建造はからだの成長です——エペソ 4:15-16。

3. 神の宮また神の家としての召会の建造は、信者たちの命における成長によります——I コリント 3:6-7. エペソ 4:15-16. コロサイ 2:19. I ペテロ 2:2。

4. からだは、神の増し加わりによって成長します——コロサイ 2:19 :

a. からだの成長は、わたしたちの内側での神の増し加わり、神の加わること、神の

増加にかかっています——エペソ 4:16。

- b. 神は主観的な方法でご自身をわたしたちに与えることによって、成長させます——エペソ 3:16-17 前半：

(1) 神がわたしたちを成長させることが実際に意味するのは、彼がわたしたちにご自身を与えるということです——I コリント 3:6-7。

(2) 神がわたしたちに加えられれば加えられるほど、神はますますわたしたちを成長させます——エペソ 4:15-16。

5. 召会が成長するのは、命の分与、神聖な三一の神聖な分与によってです——II コリント 13:14：

a. 三重の神（父なる神、御子、その霊）は、ご自身を命またわたしたちの命の供給として、わたしたちの中へと分与しています——エペソ 3:16-17。

b. 手順を経て究極的に完成された三一の神がご自身を命としてわたしたちの中へと分与している限り、わたしたちは養われ成長します——エペソ 4:15-16。

c. わたしたちは諸召会の中で、神聖な命の分与を通しての真の成長を顧慮すべきです——I コリント 3:6-7. II ペテロ 1:5-7。

- D. 建物全体は聖くなりつつあります——エペソ 2:21：

1. 神がわたしたちを聖くするのは、聖なる方であるご自身を、わたしたちの存在の中へと分け与えることによります。それはわたしたちの全存在が、彼の聖なる性質で浸透され、飽和されるためです——エペソ 1:4. I テサロニケ 5:23。

2. わたしたち、神の選ばれた者たちが聖くなることは、神の神聖な性質にあずかること、わたしたちの全存在が神ご自身で浸透されることです。これはわたしたちの存在を、神の性質と特性の中で、神ご自身のように聖くします——II ペテロ 1:4. エペソ 5:27. コロサイ 1:22。

- E. 建物全体が、主の中にある宮へと成長していきます——エペソ 2:21：

1. エペソ第2章21節の「宮」と訳されたギリシャ語が意味しているのは、聖なる所、宮の内なる部分です。

2. 召会は神の宮です。そのようなものとして、それは聖なる神の聖なる所、神の霊が住む宮です——I コリント 3:16-17：

a. I コリント第3章16節の「神の宮」は、一つの地方に集まっている団体の信者のことを言っています。17節の「神のその宮」は、普遍的にすべての信者のことを言っています。

b. 宇宙における唯一の霊的な神の宮は、地上の多くの地方にその表現を持っています。それぞれの表現は、その地方における神の宮です——エペソ 2:21-22。

3. 新エルサレムに宮はありません。なぜなら、主なる神、全能者と小羊が、その宮であるからです——啓 21:22：

a. 聖なる都エルサレム全体は至聖所になります。ですから、その中に宮はありません——啓 21:16。

b. この内なる宮は、主なる神、全能者と小羊です——啓 21:22。

4. 神の家、神の聖なる所の建物全体は、主なるキリストの中にあります——エペソ 2:21。
IV. エペソの地方の聖徒たちに言及して、パウロは次のように言っています、「その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです」——エペソ 2:22 :

A. 宮と住まいは、同じものの二つの面を指しています——エペソ 2:21-22 :

1. 宮は、神の民が神と接触し、神を礼拝し、神の託宣を聞く所です——エペソ 2:21。
2. 神の住まいは安息の場所です。神はご自身の住まいにおいて安息します——エペソ 2:22。
3. 宮と住まいは、二つの異なる場所ではありません。むしろ、それらは同じ建物の二つの面、二つの機能あるいは用途です。

B. エペソ第2章22節の「もまた」という言葉は、21節の建物が宇宙的であり、22節の建物が地方的であることを示します :

1. 文脈によれば、エペソ第2章21節の聖なる宮は宇宙的であり、22節の神の住まいは地方的です。
2. 宇宙的には、召会は唯一であり、宇宙的に成長しています。地方的には、召会は所在している地方でも一であり、その地方の聖徒たちは彼らのいる地方で、共に建造されていきます——エペソ 2:21-22. I コリント 1:2. 3:16-17。

C. 神の住まいは、わたしたちの霊の中にあります——エペソ 2:22 :

1. エペソ第2章21節は、聖なる宮が主の中にあると言い、22節は、神の住まいが霊の中にあると言います。
2. これは、神の住まいの建造のために、主がわたしたちの霊と一であり、わたしたちの霊が主と一であることを示しています——I コリント 6:17。
3. わたしたちの霊は、神の住まいが建造される所です。